G-Web Cross
操作マニュアル

ジオサイン株式会社

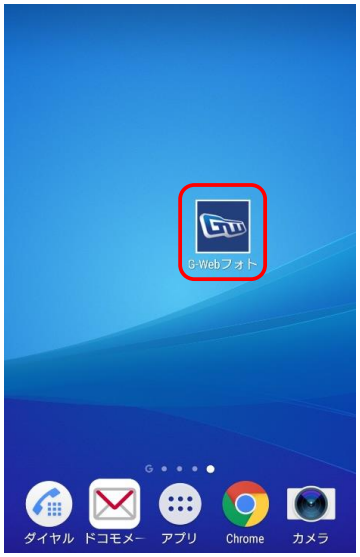
目　次

1.	G-Web Crossアプリをインストールする	・・・	1
2.	G-Web Crossアプリを起動する	・・・	3
3.	施工データをG-Webフォトサーバへ送信する	・・・	5
4.	G-Webフォトサーバで施工データを確認する	・・・	10
5.	G-Web Crossサーバで施工データを確認・編集する	・・・	12

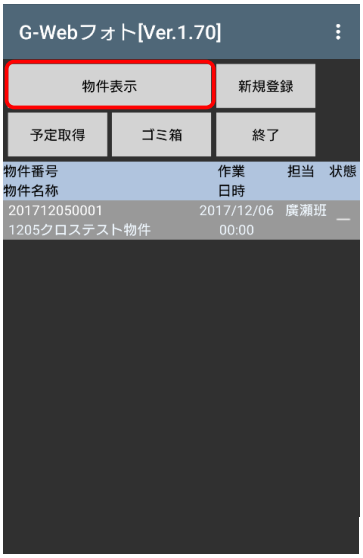
1． G-Web Crossアプリをインストールする

G-Web CrossアプリはG-Webフォトアプリの物件情報ページからインストールできます。
G-Webフォトアプリのバージョンが「Ver.1.70」以上になっていることを確認してから、
インストール作業を行ってください。

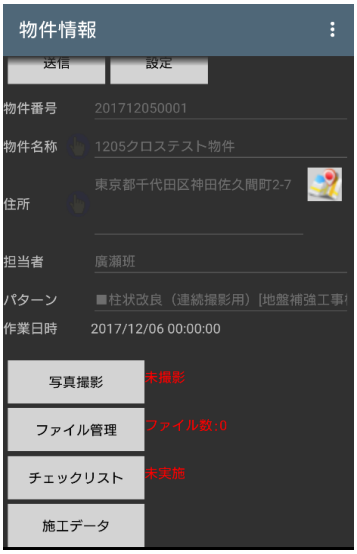
1．G-Webフォトアプリを起動して、物件情報ページを開く。
G-Web Crossアプリは予定取得を行った物件からインストールできます。
物件が無い場合は予定取得で物件を1つ取得してください。



ホーム画面



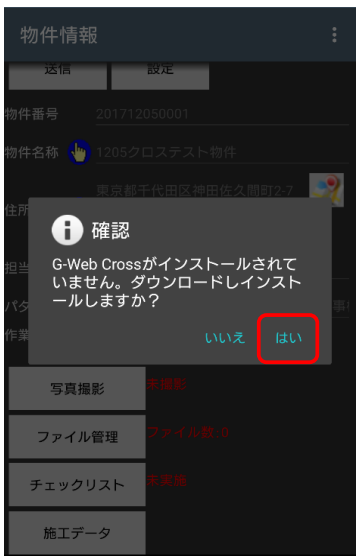
G-Webフォトメイン画面



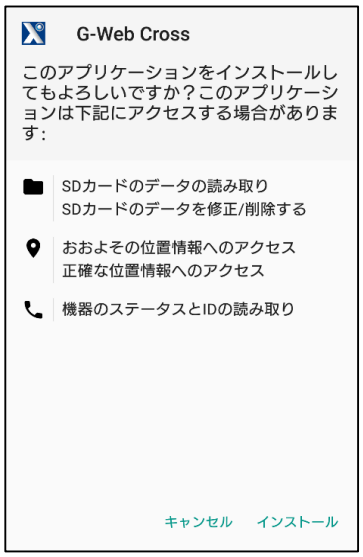
G-Webフォト物件情報ページ

2．G-Web Crossアプリをインストールする。
「施工データ」ボタンをタップすると、G-Web Crossアプリのインストールが開始されます。
ボタンが表示されない時はG-Webフォトアプリのバージョンが最新でない可能性があります。
G-Webフォトアプリのバージョンが「Ver.1.70」以上になっていることを確認してください。

G-Webフォト物件情報ページ



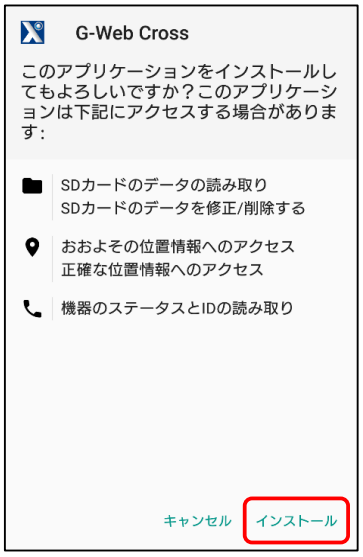
G-Web Crossインストール確認画面



G-Web Crossインストール確認画面

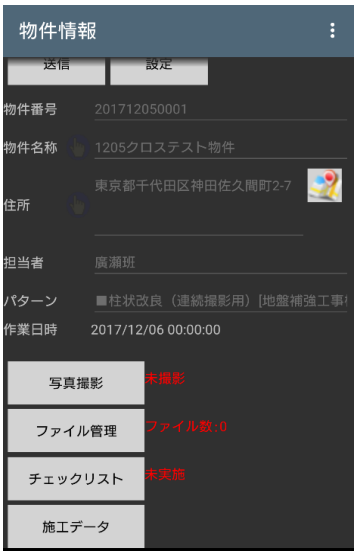
1．　G-Web Crossアプリをインストールする

インストールが完了するとG-Webフォト物件情報ページに戻ります。
もう一度「施工データ」ボタンをタップすると、G-Web Crossアプリが起動します。



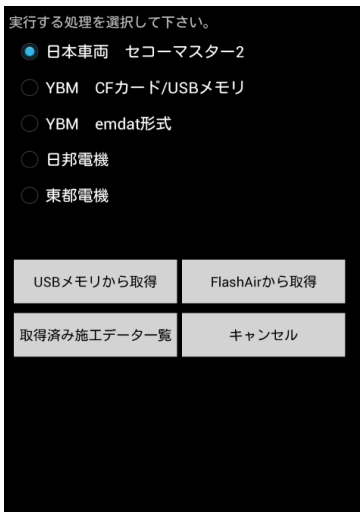
G-Web Crossインストール確認画面

G-Web Crossインストール確認画面



G-Webフォト物件情報ページ

G-Webフォト物件情報ページ



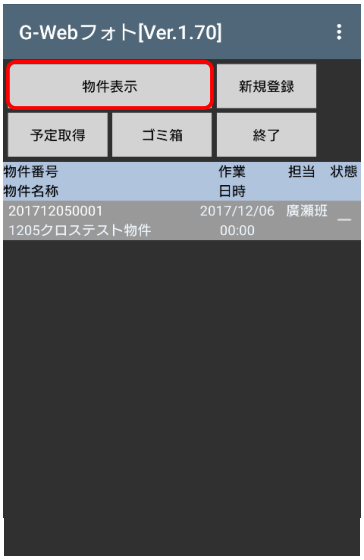
G-Web Crossメイン画面

2． G-Web Crossアプリを起動する

G-Web CrossアプリはG-Webフォトアプリから起動することができます。
G-Web Crossのアイコンからでは起動できませんのでご注意ください。

1．G-Webフォトアプリを起動して物件情報ページを開く。

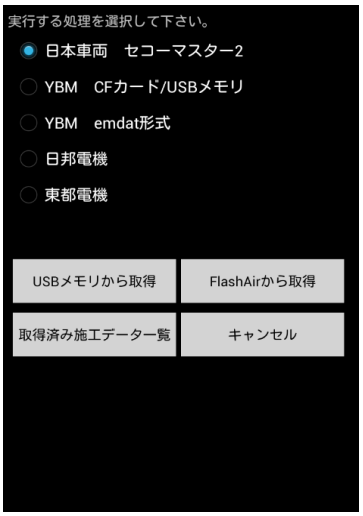
ホーム画面



G-Webフォトメイン画面

2．「施工データ」ボタンからG-Web Crossアプリを起動する。

G-Webフォト物件情報ページ



G-Web Crossアプリ画面

項目	内容
USBメモリから取得	端末に接続したUSBメモリから施工データを取得します。
FlashAirから取得	端末と通信可能なFlashAirから施工データを取得します。
取得済み施工データ一覧	取得した施工データ情報を一覧で表示します。
キャンセル	G-Web Crossアプリを終了します。

2． G-Web Crossアプリを起動する

G-Web Crossアプリから起動しようとすると以下のメッセージが表示されます。
表示された指示に従って、G-Webフォトアプリから起動してください。

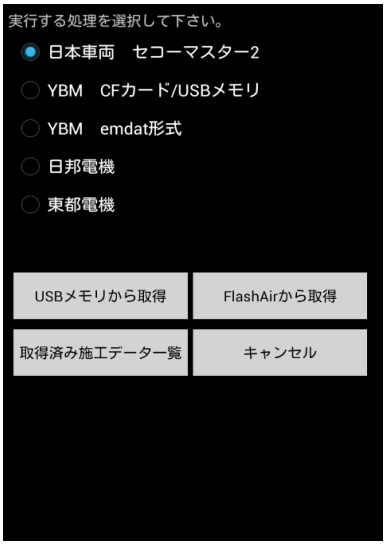
ホーム画面

G-Web Crossアプリ画面

3． 施工データをG-Webフォトサーバに送信する

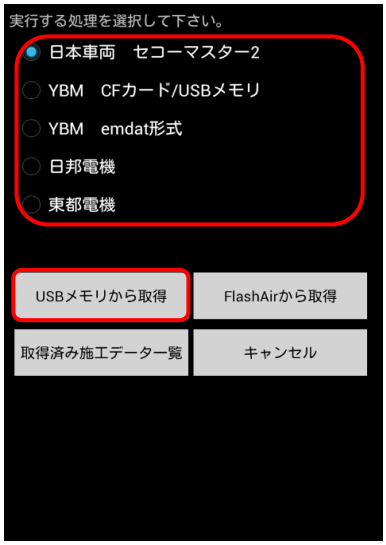
メモリーカードに保存された施工データをG-WebフォトサーバとG-Web Crossサーバに送信します。
G-Webフォトサーバにログインすれば、施工報告書を自由に閲覧できます。

1. G-Webフォトアプリ内からG-Web Crossアプリを起動する。
   G-Webフォト物件情報ページの「施工データ」ボタンからG-Web Crossを起動します。



G-Webフォト物件情報ページ　　G-Web Crossアプリ画面

2. USBメモリに保存された施工データを送信する。
   G-Web Crossアプリが起動したら使用している施工管理装置とメモリーカードを選択します。
   ここでは「USBメモリから取得」を選択します。



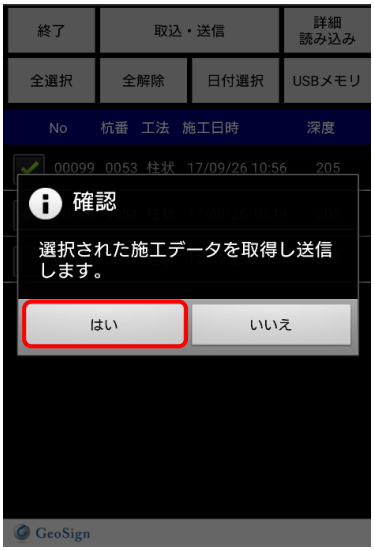
施工管理装置と外部メディア選択画面　　ファイル選択画面

3． 施工データをG-Webフォトサーバに送信する

施工データが保存されているフォルダを表示して「決定」ボタンタップすると、
施工データー覧表示画面に移動します。

ファイル選択画面　　施工データー覧画面

送信したい施工データをチェックして「取込・送信」ボタンをタップするとデータが送信されます。
送信が完了すると自動でG-Webフォト画面に戻ります。

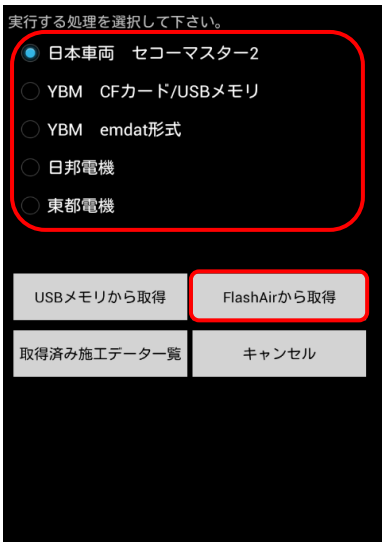


項目	内容
終了	画面を閉じて、施工管理装置と外部メディア選択画面に戻ります。
取込・送信	チェックを入れた施工データの取込・送信を開始します。
詳細読み込み	施工データの施工日時・深度の詳細を表示します。
全選択	表示されている全てのデータにチェックを入れます。
全解除	表示されている全てのデータのチェックを外します。
日付選択	指定した日付の施工データのみにチェックを入れます。
USBメモリ	施工データの選択画面を開きます。

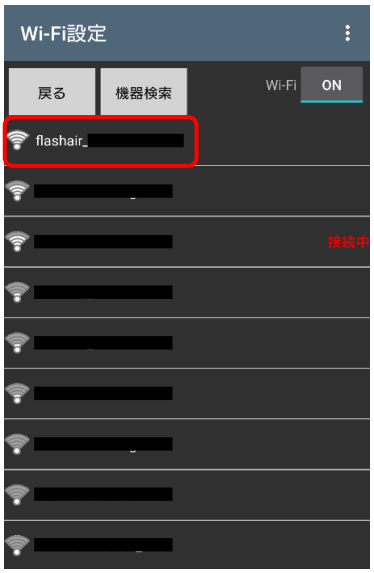
※FlashAirを使用する時は、「USBメモリ」は「Wi-Fi」と表示されます。

3． 施工データをG-Webフォトサーバに送信する

3. FlashAirに保存された施工データを送信する。
次に、FlashAirに保存された施工データを送信する方法を説明します。
「FlashAirから取得」をタップすると、Wi-Fi検索画面に移動するのでFlashAirを選択します。



施工管理装置と外部メディア選択画面



Wi-Fi機器選択画面

FlashAirとの接続が完了すると、自動で施工データの読み込みが始まります。
施工データの読み込みが完了した後の操作は、USBメモリと同様になります。

FlashAirデータ読み込み画面

施工データ一覧画面

3． 施工データをG-Webフォトサーバに送信する

4. 送信した施工データ詳細を端末で確認する。
施工データを送信すると、送信したデータの詳細を端末で一覧表示できるようになります。

「取得済み施工データー覧」ボタンをタップすると、送信済みの施工データ情報が確認できます。
「表示項目選択」ボタンから、表示したい項目だけを選ぶことができます。

3． 施工データをG-Webフォトサーバに送信する

5. 送信されなかった施工データを手動で送信する。

施工データを取り込んでも電波状況が悪い場合、送信されていない場合があります。
その時は手動で施工データを送信することが出来ます。

取得済み施工データー覧画面で状態が「未」になっている物件を選択して、
「送信」ボタンをタップすると未送信の施工データを送信することができます。

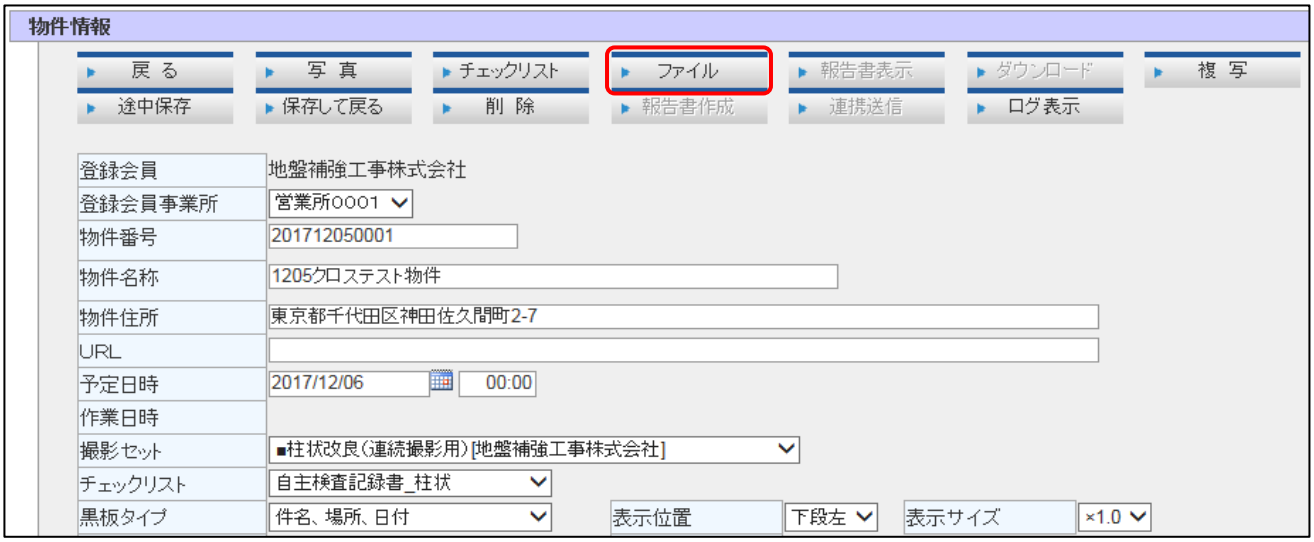
4． G-Webフォトサーバで施工データを確認する

G-Web Crossアプリで送信された施工データを、G-Webフォトサーバ上で確認します。

1. G-Webフォトサーバ上に施工データが格納されていることを確認する。
   施工データを送信した物件名称を確認して、「編集」ボタンから物件ページを開きます。

G-Webフォトサーバ画面

G-Webフォト物件情報ページ



「ファイル」ボタンからファイル書庫を開くと、施工データが格納されているのが確認できます。

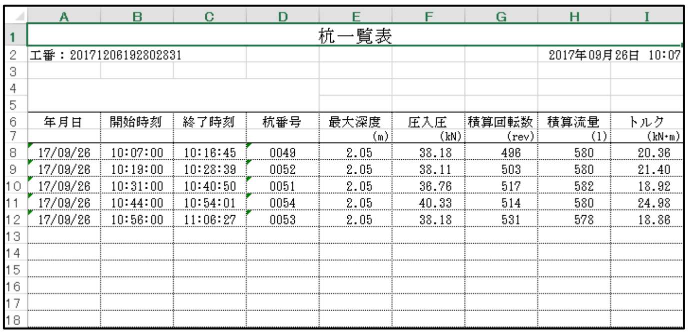
4．　G-Webフォトサーバで施工データを確認する

G-Web Crossアプリから送信された施工データは黄色で表示されます。
ファイルが格納された方法によって表示される色が異なります。

青色・・・G-Webシステム【施工版】から連携された施工データ
黄色・・・G-Web Crossから連携された施工データ
赤色・・・「新規追加」ボタンから手動でアップロードされたファイル

2．施工報告書を閲覧する。

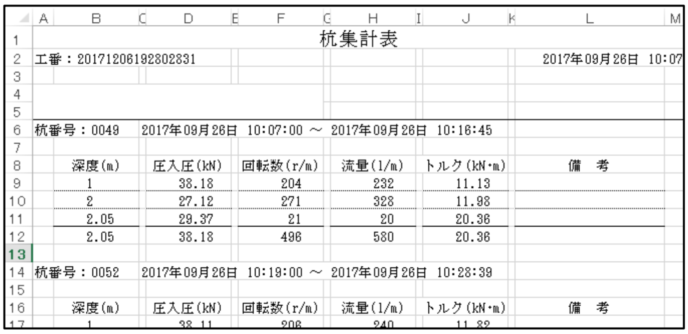
ファイル書庫に格納されるファイルはExcelで作成された施工報告書と施工生データの2つです。
施工報告書には以下の4種類のデータが含まれます。



杭一覧表

工番：20171206192802831　　2017年09月26日　10:07

年月日	開始時刻	終了時刻	杭番号	最大深度 (m)	圧入圧 (kN)	積算回転数 (rev)	積算流量 (l)	トルク (kN·m)
17/09/26	10:07:00	10:16:45	0049	2.05	38.18	496	580	20.36
17/09/26	10:19:00	10:28:39	0052	2.05	38.11	503	580	21.40
17/09/26	10:31:00	10:40:50	0051	2.05	36.76	517	582	18.92
17/09/26	10:44:00	10:54:01	0054	2.05	40.33	514	580	24.98
17/09/26	10:56:00	11:06:27	0053	2.05	38.18	531	578	18.86



杭集計表

工番：20171206192802831　　2017年09月26日　10:07

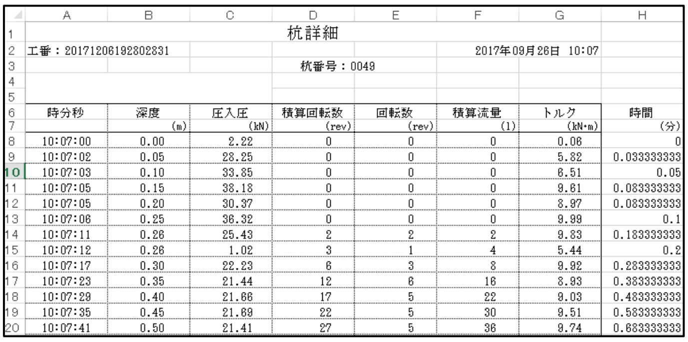
杭番号：0049　2017年09月26日　10:07:00 ～ 2017年09月26日　10:16:45

深度(m)	圧入圧(kN)	回転数(r/m)	流量(l/m)	トルク(kN·m)	備　考
1	38.18	204	232	11.13	
2	27.12	271	328	11.98	
2.05	29.37	21	20	20.36	
2.05	38.18	496	580	20.36	

杭番号：0052　2017年09月26日　10:19:00 ～ 2017年09月26日　10:28:39

深度(m)	圧入圧(kN)	回転数(r/m)	流量(l/m)	トルク(kN·m)	備　考
1	38.11	206	240	11.82	

杭一覧表　　杭集計表

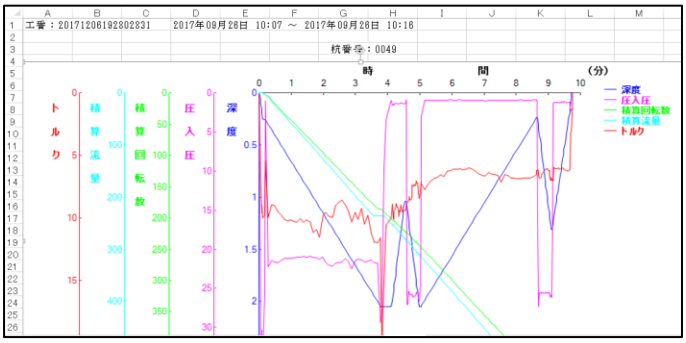


杭詳細

工番：20171206192802831　　2017年09月26日　10:07

杭番号：0049

時分秒	深度 (m)	圧入圧 (kN)	積算回転数 (rev)	回転数 (rev)	積算流量 (l)	トルク (kN·m)	時間 (分)
10:07:00	0.00	2.22	0	0	0	0.06	0
10:07:02	0.05	28.25	0	0	0	5.82	0.033333333
10:07:03	0.10	33.85	0	0	0	6.51	0.05
10:07:05	0.15	38.18	0	0	0	9.61	0.083333333
10:07:05	0.20	30.37	0	0	0	8.97	0.083333333
10:07:06	0.25	36.32	0	0	0	9.99	0.1
10:07:11	0.26	25.43	2	2	2	9.83	0.183333333
10:07:12	0.26	1.02	3	1	4	5.44	0.2
10:07:17	0.30	22.23	6	3	8	9.92	0.283333333
10:07:23	0.35	21.44	12	6	16	8.93	0.383333333
10:07:29	0.40	21.66	17	5	22	9.03	0.483333333
10:07:35	0.45	21.69	22	5	30	9.51	0.583333333
10:07:41	0.50	21.41	27	5	36	9.74	0.683333333

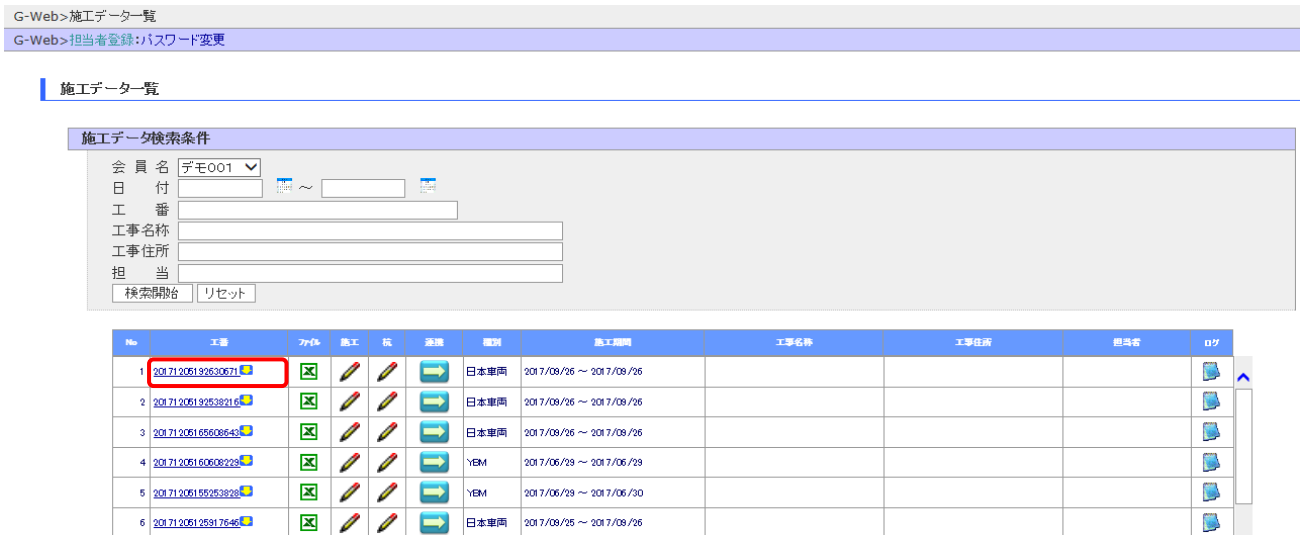


杭詳細　　杭データグラフ

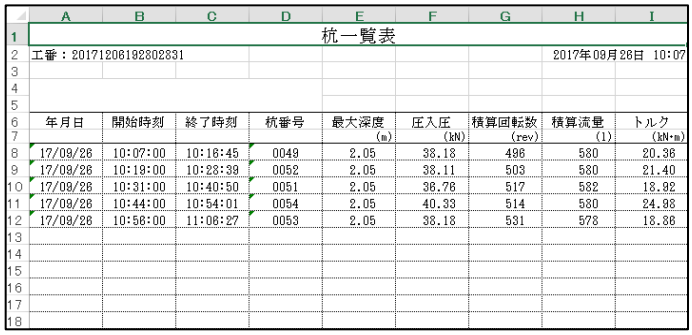
5． G-Web Crossサーバで施工データを確認・編集する

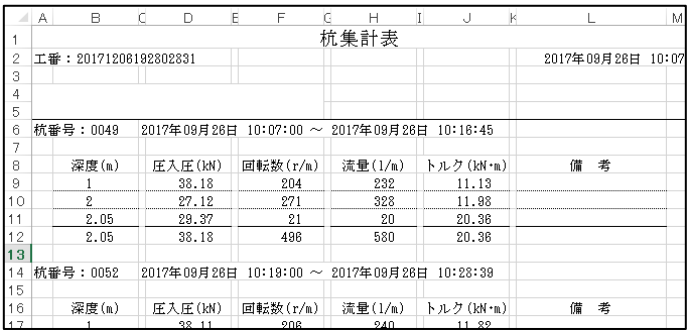
G-Web Crossアプリで送信した施工データをG-Web Crossサーバ上で確認・編集します。

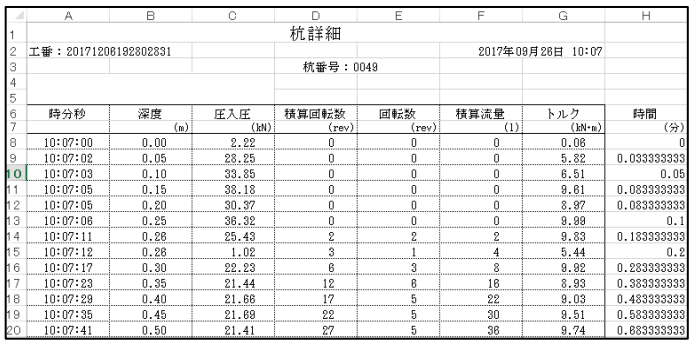
1．Excelで作成された施工報告書をダウンロードする。

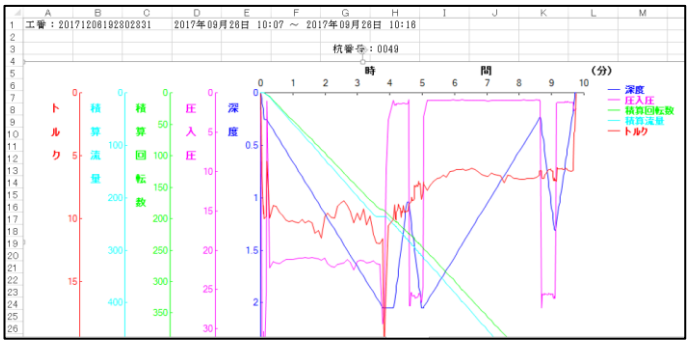


工番をクリックするとExcelファイルで作成された施工報告書をダウンロードできます。









項目	内容
会員名	ログイン中のユーザの営業所名が初期表示されます。 指定した営業所に該当するデータを検索します。
日付	範囲指定した作業予定日に該当するデータを検索します。
工番	入力された文字列から始まる工番のデータを検索します。
工事名称	入力された文字列を含む工事名称のデータを検索します。
工事住所	入力された文字列を含む工事住所のデータを検索します。
担当	入力された文字列を含む担当者のデータを検索します。
検索開始ボタン	入力された条件で検索を実行し、該当するデータを一覧に表示します。
リセットボタン	入力した検索条件を全て削除します。

5． G-Web Crossサーバで施工データを確認・編集する

2. 施工報告書を編集する

施工報告書に表示する項目や工事名称を編集することができます。

No	工番	ファイル	施工	杭	連携	種別	施工期間
1	20171205192630671					日本車両	2017/09/26 ～ 2017/09/26
2	20171205192538216					日本車両	2017/09/26 ～ 2017/09/26
3	20171205165608643					日本車両	2017/09/26 ～ 2017/09/26
4	20171205160608229					YBM	2017/06/29 ～ 2017/06/29
5	20171205155253828					YBM	2017/06/29 ～ 2017/06/30
6	20171205125917646					日本車両	2017/09/25 ～ 2017/09/26

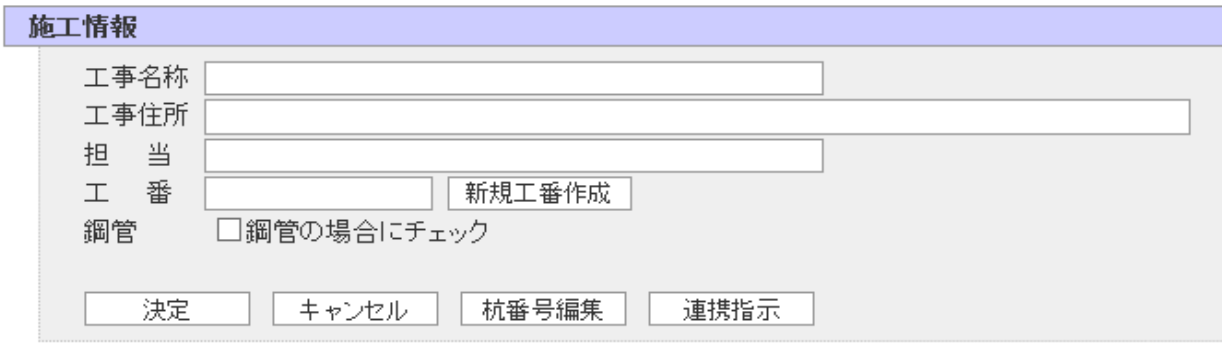
「ファイル」編集画面

項目	内容
施工データ出力種別	施工データに表示する項目を選択します。
グラフデータ出力種別	施工グラフに表示する項目を選択します。
帳票出力設定	ファイルを印刷する時に表示する項目を選択します。
用紙1枚あたりのグラフ数	施工グラフを用紙1枚あたりに何個表示するかを選択します。
杭出力順	杭データを表示する順序を選択します。
グラフ色設定	施工グラフの色を選択します。
優先	同じ杭番号がある時、どちらを優先して表示するかを選択します。
Excelの作成ボタン	編集した内容で報告書を再作成します。
生データ	施工管理装置に保存される生データをダウンロードします。
施工杭データ一覧	施工報告書に載せる杭データを選択できます。

5． G-Web Crossサーバで施工データを確認・編集する

「施工」編集画面

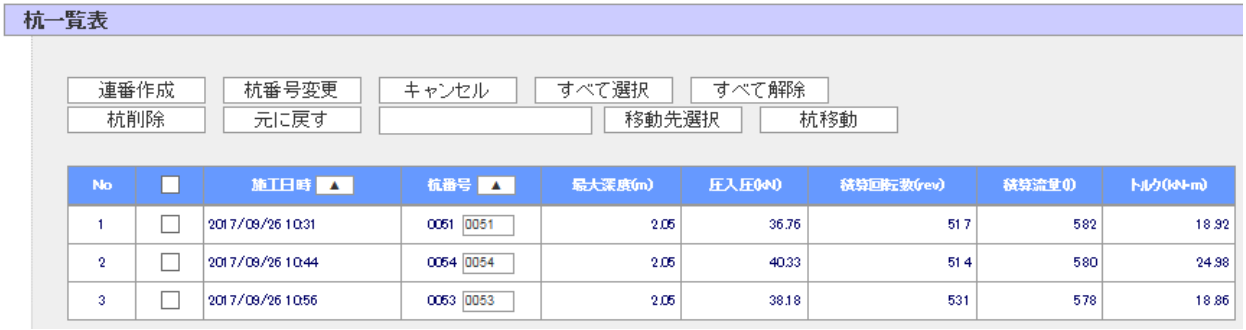
施工情報編集



項目	内容
工事名称	工事名称を入力します。
工事住所	工事場所の住所を入力します。
担当	工事担当者名を入力します。
工番	新規に工番を作成して、施工データを移動することができます。
杭番号編集	杭番号編集画面に移動します。
連携指示	G-Webフォトシステムとの連携指示画面に移動します。

「杭」編集画面

杭番号編集



項目	内容
連番作成	表示されている杭番号を1から連番で自動入力します。
杭番号変更	編集した内容を保存します。
キャンセル	入力した内容をキャンセルします。
すべて選択	表示されている杭データ全てにチェックを入れます。
すべて解除	表示されている杭データ全てのチェックを外します。
杭削除	チェックを入れた杭データを削除します。
元に戻す	編集した内容を全て取り消し、編集前の状態に戻ります。
移動先選択	杭データを移動したい工番を選択します。
杭移動	チェックを入れた杭データを選択した工番へ移動します。

5． G-Web Crossサーバで施工データを確認・編集する

3. 編集した施工データをG-Webフォトサーバと連携する。
   編集した施工データを連携すると、G-Webフォトサーバ上に編集された施工データが追加されます。

   G-Webフォトファイル書庫画面

G-Web Crossで連携された施工データが格納されています。
次にG-Web Crossサーバにログインして、施工データを編集します。
編集が完了した後に「連携」ボタンをクリックすると、編集された施工データが
G-Webフォトサーバに自動で追加されます。